

燕市の中・長期財政見通し

平成25年3月
新潟県 燕市 

目 次

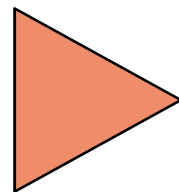
- 1.作成の趣旨 2. 推計の基本的前提条件……P1
- 2-① . 個別の前提条件《歳入》……P2
- 2-② . 個別の前提条件《歳出》……P3
- 3. 財政見通し……P4
- 4. 市債残高.公債費等の推移と見通し……P5

1. 作成の趣旨

中・長期的な財政見通しを明らかにし、安定した財政運営の指針として活用する。

☆総合計画後期基本計画

☆行政改革大綱後期実施計画



整合を図り作成

2. 推計の基本的前提条件

- ・平成25年度の一般会計当初予算をベースとしました。
- ・現行の税財政制度及び社会保障制度を基本としました。

2-①．個別の前提条件《歳入》

1.市税

- ・市民税―働く世代の減少や、近年の決算状況などを参考に見込みました。
- ・固定資産税―評価替えの影響を見込みました。

2.地方譲与税等

- ・消費税率の引上げ分は、現段階で地方財政収支への影響が不明なため、未反映としました。

3.地方交付税

- ・市税減収による増加や、合併特例債の償還に伴う増加を見込みました。
- ・平成28年度からの合併算定替え終了による段階的な減少を見込みました。
- ・平成25年度における地方公務員給与の削減に伴う減額措置が、平成26年度以降に復元する前提で見込みました。

4.国・県支出金

- ・普通建設事業費や、扶助費の伸びに係るものは歳出と連動しました。

5.市債

- ・通常債に加え、新市建設計画や主要事業の合併特例債等を見込みました。

2-②．個別の前提条件《歳出》

1.人件費（委員報酬等含む）

- ・職員人件費は、「定員適正化計画」により見込みました。

2.扶助費

- ・医療給付費や、高齢化などによる関係経費等の影響を見込みました。

3.普通建設事業費

- ・通常事業に加え、新市建設計画掲載事業や主要事業を見込みました。

4.公債費

- ・市債の発行額と連動し積算しました。

5.繰出金

- ・国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険事業の3つの特別会計は、高齢化などの影響を見込みました。
- ・公共下水道事業、温泉保養センターの2つの特別会計は公債費償還分などの繰出しを見込みました。

3. 財政見通し

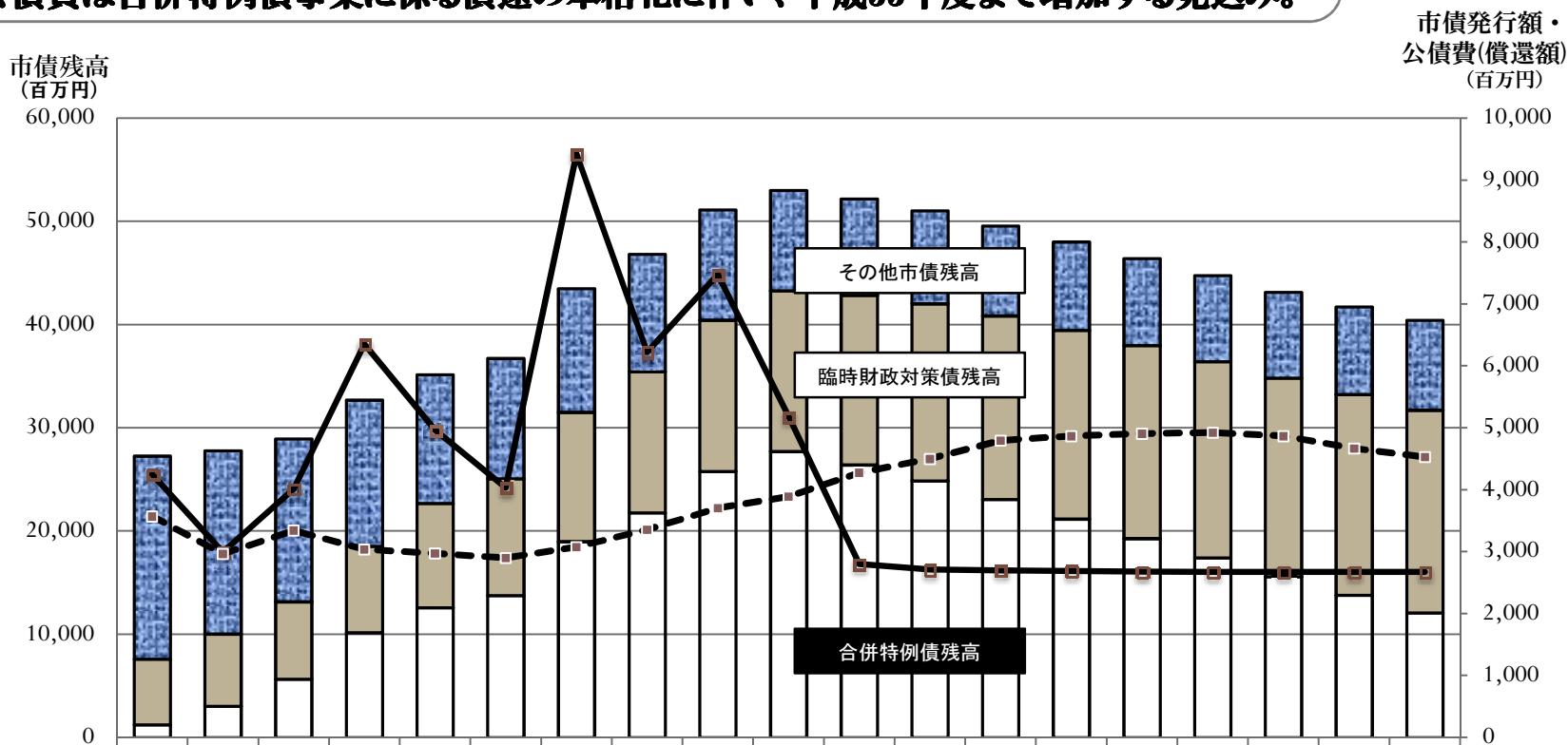
(単位:百万円)

項 目		年 度	H 2 5年度	H 2 6年度	H 2 7年度	H 2 8年度	H 2 9年度	H 3 0年度	H 3 1年度	H 3 2年度	H 3 3年度	H 3 4年度
① 歳 入	市 税		10,123	10,169	10,086	10,077	9,910	9,800	9,801	9,796	9,700	9,705
	地 方 交 付 税 (臨財債を含む)		7,778	8,259	8,648	8,805	8,915	8,970	8,808	8,566	8,531	8,475
	地 方 譲 与 税 等		1,380	1,381	1,382	1,383	1,383	1,384	1,385	1,386	1,387	1,388
	国・県支出金		4,576	4,386	4,387	4,402	4,361	4,412	4,511	4,577	4,570	4,654
	市 債 (臨財債を除く)		5,761	8,582	5,828	3,899	3,175	2,888	2,970	2,496	2,782	2,157
	そ の 他 の 歳 入		5,601	4,967	5,270	4,723	4,753	4,863	4,793	4,883	4,863	4,784
	合 計		35,219	37,743	35,600	33,289	32,497	32,317	32,267	31,704	31,833	31,163
② 歳 出	人 件 費		4,786	4,691	4,608	4,549	4,497	4,521	4,525	4,524	4,489	4,531
	扶 助 費		4,723	4,755	4,788	4,821	4,855	4,888	4,922	4,956	4,990	5,024
	普通建設事業費		3,727	7,161	4,929	2,021	2,015	2,015	2,003	2,003	1,995	1,995
	物 件 費		4,589	4,413	4,321	4,286	4,188	4,155	4,080	4,028	3,945	3,921
	補 助 費 等		4,837	4,529	3,948	3,965	3,898	3,808	3,722	3,649	3,600	3,608
	公 債 費		6,110	6,488	6,211	7,031	6,528	6,537	6,692	6,255	6,559	5,879
	他 会 計 繰 出 金		3,032	3,085	3,173	3,232	3,312	3,292	3,216	3,197	3,167	3,140
	貸付金・その他の歳出		3,416	3,382	3,382	3,382	3,383	3,383	3,384	3,384	3,385	3,385
	合 計		35,219	38,506	35,361	33,287	32,676	32,600	32,544	31,996	32,130	31,482
歳入歳出差引額		0	△ 762	239	2	△ 179	△ 282	△ 277	△ 292	△ 296	△ 319	
財政調整基金年度末残高		2,890	2,128	2,367	2,369	2,190	1,908	1,630	1,338	1,042	723	

※計数については、それぞれ四捨五入しているため、端数が合致しないものがあります。
 ※市債・公債費については、借換債を含めています。

4. 市債残高・公債費等の推移と見通し

市債残高は合併特例債事業の実施に伴い、平成27年度まで増加する見込み。
 公債費は合併特例債事業に係る償還の本格化に伴い、平成33年度まで増加する見込み。



■ その他市債残高	19,673	17,761	15,776	14,169	12,456	11,651	11,976	11,382	10,678	9,719	9,332	8,993	8,720	8,563	8,427	8,334	8,313	8,494	8,711
■ 臨時財政対策債残高	6,357	6,993	7,503	8,367	10,106	11,321	12,530	13,659	14,672	15,582	16,431	17,162	17,776	18,286	18,690	19,008	19,249	19,442	19,645
■ 合併特例債残高	1,235	3,037	5,657	10,159	12,585	13,754	18,985	21,779	25,773	27,711	26,413	24,874	23,073	21,165	19,283	17,408	15,580	13,787	12,074
—■— 市債発行額	4,250	2,994	4,017	6,353	4,966	4,035	9,420	6,226	7,474	5,184	2,805	2,712	2,701	2,691	2,680	2,675	2,675	2,675	2,675
- - ■ - - 公債費	3,570	2,965	3,343	3,037	2,971	2,899	3,074	3,356	3,705	3,891	4,276	4,498	4,794	4,867	4,905	4,922	4,867	4,667	4,529

※市債発行額及び公債費は、借換債を除いた額を掲載しているため、「3. 財政見通し」と一致しません。